

# 「暮らしに種を、笑顔に花を」 家族の健康や暮らしを支えるモノと知恵 たくさんの方々の笑顔を咲かす種を蒔く

ここは「家族」が  
笑顔になる場所

「春花秋月HARUから」はひばりが丘ピピ通り商店街に平成31年4月にオープンした食品、日用品、陶器がメインのセレクトショップ。ご自身や、大切な人に「何か良いモノを届けたい」と思う時、ここには笑顔の種となるモノがたくさんある。

店主の鈴木代表は、数年前までは体調を崩すことが多く、寝たきりの状態になる事も多々あった。数々の医療を経験する中で、「家族には同じ想いをさせたくない」と一心に願い、食事や暮らしのモノをひとつひとつ見直していったという。暮らしを豊かにするものに囲まれていく中で、気づいた事がある。それは、家族に使う欲しいと安心できる商品には、生産者の「誰かを想う温かな心」が必ず詰まっていること。その心が、私たちの暮らしをも豊かにし、困っている人の心に寄り添い、また次の誰かへ届けられていくこと。これを、より多くの方々に知っていただき、これからの子どもたちの健やかな未来に繋がって欲しいという願いから創業に至った。

訪ねて、聴いて、  
体験して確かめる

いいモノがあれば全国どこにでも足を運び、生産者と対面し、じっくり話を聴く。生産者のモノに込めた想いとひたむきな精神を肌で感じ取り、また自ら体験し、ホンモノと確信した商品だけを選定していく。「時間と手間がかかっても好きだと思えるモノの発掘にはこだわり抜いているんです」と鈴木代表はいう。

さらに、「来店したお客様一人一人と向き合い、会話を通して、出来るだけその方に合った商品をご紹介することを大切にしている」という。なぜ、この商品に出逢ったのか、どういう方がどういう想いで作っているのか、オススメの使い方など、鈴木代表だからこそ伝えられるエピソード



左 スタッフ：鈴木 久侖葉氏 右 代表：鈴木 由利子氏

ソードは、お客様と生産者の目に見えない距離を、グッと近づける。話しただけでは伝わりにくい商品には、説明書やパンフレットを添えて試供品を提供することもある。試供品で実際に体験したお客様のリピート率が高いことは、商品への愛情が大きい分、鈴木代表にとって一番嬉しい出来事だ。

これからの夢

「イベントができないことがとても残念。地域の人々が集まり、家族の健康や暮らしを支えてくれるモノや知恵をもっとたくさんの方々に知っていただく機会が増えることを心から願っています」と鈴木代表はいう。

更にオンラインショップの規模を拡大し、全国各地の当店を必要としている人に届けることが大きな夢。暮らしに種を、笑顔に花をもっと咲かせたい。そんな「春花秋月HARUから」がこれからも地域に根付いて信頼を得ていくことが楽しみである。



## 春花秋月 HARUから

代表：鈴木 由利子 (すずき ゆりこ) 営業時間：10:00~18:00 定休日：月曜日+臨時休業  
住所：東京都西東京市ひばりが丘 2-8-12 電話：042-430-4308 <https://www.harukara0407.net>

## 西東京市の「技」企業を紹介

# 「毎日食べたい月曜弁当」 気軽に楽しんでもほしい

ひばりが丘ピピ通り商店街に「月曜弁当」という個性的なネーミングのお弁当屋さんがあるのをご存じだろうか。店主の堀内代表は、開業前にシエアキッチンで月曜日のみ弁当を販売していた。月曜日だけでなく、毎日販売してほしいという声を受け、今年の2月に開業に踏み切った。

シエアキッチン時代のお客様にも引き続き親しんでもらいたく、店名は変えずに開業した。また、堀内代表は中華の料理人として20年のキャリアがあり、「コロナ禍でもレストランの味を気軽に楽しんでもほしい」との思いでお弁当屋を始められた食の匠だ。資金はほぼゼロからのスタートであったため、設備の確保等の開店準備には苦労した。

中古の厨房機器を活用し、工事は友人の手を借りるなど、経費の削減を徹底して店づくりを行い、店先は花農家の友人からいただいた季節の花々によって明るく彩られている。

オープンしてから8ヶ月、これまで続けることができているのは、シエアキッチンの頃から足を運んでくれていた方をはじめ、応援して下さる皆様のおかげだと言う。

## 食の匠がこだわる オリジナルメニュー

お弁当は週替わりを含めて4種類、お惣菜も週替わりとなるが温菜・冷菜合わせて20種類ほどを用意している。また、常に新しいメニューを開発していると言う。

人気のメニューは、「よだれ鶏」「黒酢の酢豚」「宣貫燃焼(イーピンランメン)」「クリームチーズの老酒漬」などお客様に喜んでいただいている。香り高い黒酢や、深い味わいの台湾醤油、中国料理には欠かせない花山椒、八角、桂皮(けいひ)、豆豉(ドウチー)などを使用して作る料理はどれも本格的だ。ご飯には古代米とコシヒカリを独自にブレンド



ドしたお米を使っており、見た目の色合いも美しい。西東京市や東久留米市の農家と交流し、地元の農作物も積極的に使い、地産地消にも努めている。

## お客様からの応援が 何よりも励み

「家族に是非食べさせたい」「お友達に土産として持ち帰りたい」など、お客様の喜ぶ声と笑顔が何よりの励みだと言う。ご家庭で健康と新鮮野菜にこだわったお弁当やお惣菜を囲み、レストランの味を気軽に楽しんでいたただけならと言う。月曜弁当を是非ご賞味あれ。



代表：堀内 正也氏と妻 陽子氏

## 月曜弁当

代表：堀内 正也 (ほりうち まさや) 定休日：土日、祝日 営業時間：11:30~売り切れ次第終了  
住所：西東京市ひばりが丘 2-8-15 <https://www.instagram.com/getsuyobento/>

月曜弁当 検索

## 西東京創業支援・経営革新相談センター

### 西東京市でキャッシュレス！ 最大25%戻ってくるキャンペーン開催

令和4年1月5日(水)~令和4年1月31日(月)の期間内に対象店舗において決済をした利用者に、決済金額の最大25%のPayPayボーナスが後日付与されます。

<http://www.nishitokyo-sougyou.net>

☎042-461-6611



西東京市  
産業ニュース匠ナビ



発行日：令和3年12月15日  
発行：西東京市  
企画：RIPPLE 西東京  
協力：西東京商工会・多摩信用金庫



お問合せ先  
産業振興課 ☎042-420-2819